

水稻作況試験情報 【令和4年産 普通期栽培】

香川県農業試験場（7月30日現在）

移植期以降、最高気温、最低気温は全体を通じて平年より高く、6月6半旬、7月6半旬はかなり高く推移した。降水量は平年より少なく、日照時間は6月5半旬～7月1半旬まで長く、6月2～4半旬、7月2～6半旬で短かった。田植40日後の生育については、過去5か年の平均値より草丈は3品種ともに長く、茎数はコシヒカリは少なく、ヒノヒカリとおいでまいは多かった。主稈葉数はコシヒカリとヒノヒカリは平年並み、おいでまいは多かった。

1. 作況試験の方法

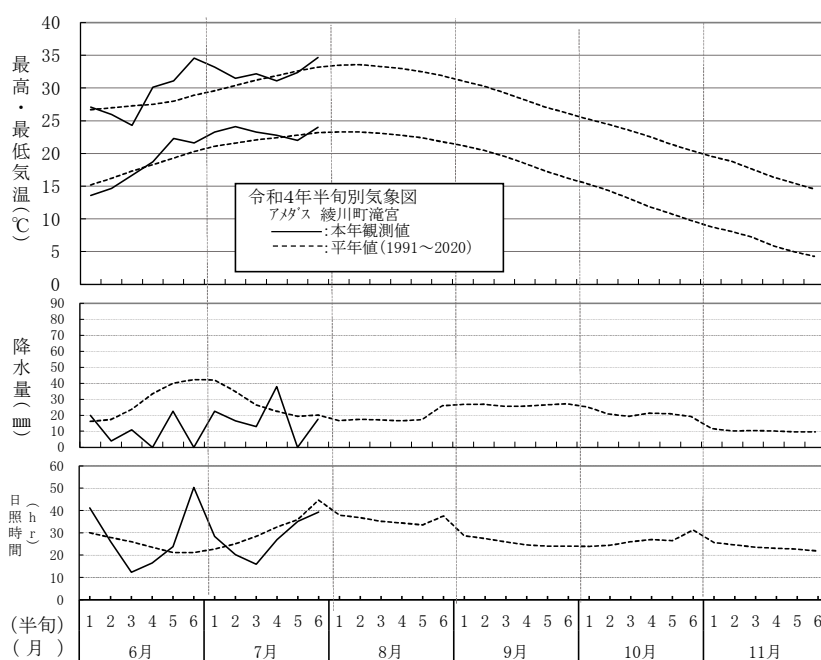
- 1) 供試品種：コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまい
- 2) 播種期：5月31日 移植期：6月20日
- 3) 育苗方法：播種後、加温出芽させ、その後露地育苗した。
- 4) 栽植密度及び移植方法
18.5株/m²（30cm×18cm）、1株4本程度、機械移植
なお、生育調査株は移植直後1株4本に調整した。
- 5) 本田施肥（N成分kg/a）

	基肥	穂肥Ⅰ（予定）	穂肥Ⅱ（予定）
コシヒカリ	0.3	0.15	0.10
ヒノヒカリ	0.5	0.25	0.15
おいでまい	0.5	0.25	0.15

- 6) 使用肥料：化成肥料（N：P₂O₅：K₂O=14：10：12%）
- 7) 1区面積及び区制 1区250m²（コシヒカリ500m²）、2反復

2. 具体的データ

令和4年産水稻 気象表（7月6半旬まで）



令和4年産 水稻作況試験生育調査結果(7月30日現在)

調査 (月/日)	供試品種 項目	コシヒカリ			ヒノヒカリ			おいでまい		
		本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)
移植時 (6/20)	草丈(cm)	14.5	14.9	▲ 0.4	11.5	11.9	▲ 0.4	11.0	11.4	▲ 0.4
	主稈葉数(枚)	2.4	2.4	0	2.5	2.5	0	2.4	2.6	▲ 0.2
田植20日後 (7/10)	草丈(cm)	38.9	39.6	▲ 0.7	32.1	32.0	0.1	30.0	33.8	▲ 3.8
	茎数(本/㎡)	295	213	38 %	330	243	36 %	388	274	42 %
	主稈葉数(枚)	7.7	7.3	0.4	8.1	7.6	0.5	8.5	7.7	0.8
田植30日後 (7/20)	草丈(cm)	61.9	56.4	5.5	50.4	47.9	2.5	49	46.7	2.3
	茎数(本/㎡)	509	480	6 %	603	529	14 %	694	633	10 %
	主稈葉数(枚)	9.8	9.7	0.1	10.2	9.9	0.3	10.7	10.1	0.6
田植40日後 (7/30)	草丈(cm)	80.9	75.7	5.2	70.4	68.8	1.6	70.8	67.0	3.8
	茎数(本/㎡)	492	518	▲ 5 %	629	592	6 %	800	717	12 %
	主稈葉数(枚)	11.2	11.2	0	11.5	11.4	0.1	12.3	12.0	0.3
播種期(月/日)		5/31	5/30	1	5/31	5/30	1	5/31	5/30	1
移植期(月/日)		6/20	6/20	0	6/20	6/20	0	6/20	6/20	0
幼穂形成始期(月/日)		7/26	7/27	1		8/5			8/7	
出穂期(月/日)			8/15			8/27			8/27	
主稈止葉葉位(枚)			13.0			14.3			15.2	
穂数(本/㎡)			395	%		408	%		442	%
稈長(cm)			88.5			82.3			80.9	
穂長(cm)			18.2			18.1			19.1	
成熟期(月/日)			9/19			10/6			10/6	

注1) コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまいの差は過去5か年平均との比較で示した。

注2) 茎数・穂数については対比(増減%)で表し、これ以外の項目については対差(実数値)で表した。なお▲は少ない、短い、早いことを示す。